

ごとう通信

第56号

平成17年8月1日

今年は過ごしやすい夏のような気がします。皆さんはどうですか？もともと汗っかきの体質ですから、訪問に行くとき、自転車を降りて大量の汗を拭いてからお部屋に入るといのがお決まりだったのですが、今年はいはあまり汗が出てきません。日差しがよくても風があつたり、湿度が低かつたりするのでしょうか。

また、何人かの方にも指摘されましたが、今年はいはアブラゼミの泣き声が少なくなっているように感じます。これはどういふことなのでしょう。気持ち悪いですね。

さて、僕は学生時代からスポーツをやっていたので、夏は…いやな思い出ばかり。剣道をやっていたとき

は全身の毛穴から大量の汗を出しながら練習をし、胴着や防具の汗臭さで倒れそうになったこともありました。また、野球部だった時は、炎天下の長時間練習で意識を失いそうになったこともあります。

先日、小学1、2年生くらいの男の子が剣道の胴着を着たまま練習から帰る光景を目にしました。僕も6歳から剣道を始めたので大変懐かしく思いました。しかし、その後ろには防具と竹刀を持ったお母さん。…？僕たちが道場に通っていたときは「足腰を鍛えるため」また、「自分の身を守るものを他人に持たせるとはどういふことだ！」と叱られながら防具を持ったものです。「重いから持ってあげる」という親がいてこの子は剣の道に進めるのでしょうか？「サムライ・ニッポン」今いずこ。



本の話

僕が監修した「食べることで生きる」といふ介護予防と口腔ケア」といふ本、本当に多くの方に購入していただき感謝しています。介護予防と口腔ケアという言葉がちまたで先行していますが、本質を僕たちがしっかりと伝えていければと考えています。

実は、このような本の出版部数は大変少なく、千冊単位なのです。診療室で皆さんに買っていたいたり、講演会やセミナーなどで話をしては本の宣伝もしたり…まるで行商人のようですが。地道な努力のおかげで約1割は